

さくらんぼ生産支援等対策会議

日 時 令和6年6月28日(金)
午後3時
場 所 502会議室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 協 議

- (1) 状況報告
- (2) 支援・対策(検討案)
- (3) その他

4 閉 会

さくらんぼ生産支援等対策会議

出席者名簿

職名	氏名	備考
知事	吉村 美栄子	
副知事	平山 雅之	
教育長	高橋 広樹	
企業管理者	松澤 勝志	
病院事業管理者	阿彦 忠之	
警察本部長	鈴木 邦夫	
総務部長	岡本 泰輔	
みらい企画創造部長	小中 章雄	
防災くらし安心部長	中川 崇	
環境エネルギー部長	高橋 徹	
しあわせ子育て応援部長	西澤 恵子	
健康福祉部長	柴田 優	
産業労働部長	岡崎 正彦	
観光文化スポーツ部長	大泉 定幸	
農林水産部長	星 里香子	
県土整備部長	小林 寛	
会計管理者	山田 敦子	
村山総合支庁長	地主 徹	
最上総合支庁長	柴崎 渉	
置賜総合支庁長	佐藤 佳子	
庄内総合支庁長	村山 朋也	
東京事務所長	黒田 あゆ美	
総務部秘書課長	太田 久美子	陪席

○事務局

職名	氏名
農林水産部次長	高橋 和博
農林水産部農政企画課長	鈴木 陽
農林水産部農業経営・所得向上推進課長	高橋 礼二
農林水産部農産物販路開拓・輸出推進課長	楨 英毅
農林水産部農業技術環境課長	佐藤 隆士
農林水産部園芸大国推進課長	近野 広行

令和 6 年 6 月 2 8 日
農 林 水 産 部

今年のさくらんぼの状況について

1 生育状況

- 当初、花束状短果枝当たりの着果数が平年よりも少なく、双子果が多いこと等から、予想収穫量は平年よりもやや少ない 12,100 t と見込んでいた。
- 5 月下旬から 6 月上旬に着色が急激に進み、その後の果実の肥大が緩慢となり、小玉傾向となった。
- 6 月 11 日～16 日にかけて最高気温が 30℃を上回る日が連続するなど、高温の影響で収穫期が早まり、障害果（過熟果等）の発生が徐々に増加して収穫ロスが発生した。

<園芸農業研究所における収穫期の状況>

- 「佐藤錦」 : 6 月 13 日に収穫盛期（前年より 2 日、平年より 5 日早い）
- 「やまがた紅王」 : 6 月 13 日に収穫盛期（前年より 6 日、平年より 12 日早い）
- 「紅秀峰」 : 6 月 16 日に収穫盛期（前年より 7 日、平年より 11 日早い）

2 収穫期が早まったこと等への対応状況

(1) 県の対応状況等

- 果実の熟度が急激に進んでいること、气象台からの高温の予報を踏まえ、早めの収穫と高温対策の実施等について様々な手段を用いて周知した。

時 期	手 段	概 要
6 月 5 日	広報紙	・「いいもの成らせるさくらんぼ便り」を発行し、果実の熟度が進んでいることから、適期内に収穫できるよう、早めの作業を周知
6 月 11 日～	広報車	・各農業技術普及課が広報車で、収穫遅れにならないように呼びかけ
6 月 12～14 日	ラジオ	・ラジオの番組内で、収穫を急ぐこと、高温対策の徹底を呼びかけ（3 回/日放送（朝、午前、午後））
6 月 11 日	広報紙	・「いいもの成らせるさくらんぼ便り」の緊急特別号を発行し、JA や市場等を通して生産者へ周知 ・「やまがたアグリネット」に掲載
6 月 12 日～	巡回 ポスター掲示	・「いいもの成らせるさくらんぼ便り」のポスター版を作成し、主産地 JA の集荷場や市場に配布して、掲示と周知を依頼
6 月 12 日～	SNS	・求職者数の増加を図るため、県の Facebook や X 等で、1 日農業アルバイトアプリ「daywork」の利用者の拡大を呼びかけ



市場でのポスター掲示による周知の様子

(2) 生産者の対応と収穫等の状況

- 主産地の生産者への聞き取りでは、高温予報に対応して反射シートを撤去したり、収穫を早め、品質が良好のままさくらんぼの収穫を終えた園地があった。
- 一方で、面積の大きい生産者等では過熟果がみられ、収穫ロスが発生し、収穫量が減少する大きな要因となった。



果皮のつやがなく、
果実の褐変、萎れが
みられる

(参考) 高温による障害が発生した果実の様子

令和4年度～令和6年度におけるさくらんぼ収穫期の気象経過

年次	項目	日付																													
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
R6	最高気温(°C)	25.0	18.7	23.0	22.2	23.9	26.1	26.3	28.9	26.3	25.4	30.5	32.6	32.7	31.7	33.6	32.3	29.4	25.2	29.9	33.3	27.6	33.1	24.5	29.7	29.1	25.4				
	最低気温(°C)	15.3	13.2	13.3	13.4	13.6	11.8	14.6	14.3	17.2	18.9	17.7	17.4	19.0	18.4	18.8	19.6	18.5	18.0	17.3	15.2	19.3	16.7	19.8	20.0	21.2	16.1				
	日照時間(h)	7.2	1.3	4.6	1.9	6.9	10.3	6.1	12.6	2.6	1.3	11.0	8.5	10.5	11.5	12.1	6.1	8.8	0.1	11.3	13.7	0.0	10.4	0.0	2.4	0.8	3.1				
	収穫期									初期 満開後 50日					盛期 満開後 54日																
R5	最高気温(°C)	27.3	20.4	22.2	25.1	26.7	30.0	27.8	27.3	22.8	29.0	23.2	25.3	26.7	26.0	22.3	22.0	30.5	31.5	26.9	28.6	28.0	23.8	26.2	28.1	29.0	31.4	30.3	29.8	31.5	26.5
	最低気温(°C)	9.1	16.6	15.9	15.8	15.9	12.8	17.1	14.9	16.1	16.9	18.9	18.0	19.4	19.2	18.9	17.8	17.3	17.0	15.8	13.4	15.3	17.5	17.5	17.8	18.6	17.5	19.1	21.0	20.7	20.9
	日照時間(h)	12.3	0.0	2.7	10.4	10.0	10.8	7.7	6.5	0.0	5.3	0.0	0.7	2.8	0.8	0.0	0.2	12.6	9.5	12.2	13.8	4.7	0.0	1.5	6.4	10.6	10.5	5.4	2.9	9.0	0.1
	収穫期												初期 満開後 52日																		
R4	最高気温(°C)	23.8	27.3	20.2	21.8	22.8	15.1	16.5	17.9	22.9	26.3	27.0	23.9	23.4	20.7	21.7	27.1	27.7	31.5	31.3	28.9	30.1	28.7	28.3	30.9	33.4	33.6	26.5	33.5	34.1	32.5
	最低気温(°C)	15.6	13.9	13.1	12.7	12.0	12.2	12.5	11.7	12.7	12.6	14.9	15.6	13.3	12.8	12.9	16.0	17.1	15.6	18.4	19.6	18.1	18.3	20.2	19.5	22.5	21.7	21.7	22.3	23.8	23.9
	日照時間(h)	9.0	8.9	2.4	11.4	9.1	0.0	0.0	0.2	5.1	6.9	5.0	5.0	10.1	4.8	0.2	4.3	4.8	8.7	9.3	6.6	7.8	4.6	3.8	1.4	10.2	9.0	0.3	2.4	7.4	4.0
	収穫期														初期 満開後 48日																

※ 気温データはアメダス山形、収穫期は園芸農業研究所の調査データより

- : 最高気温が30°C以上の日
- : 最低気温が15°C以下の日
- : 日照時間が10時間以上の日

【令和6年度】

- 6月上旬に、最低気温が15°Cを下回る日が続き、一気に着色が進んだ。
- 一方、「佐藤錦」の収穫期に入った11日から16日にかけて最高気温が30°Cを超える日が続き、「佐藤錦」「紅秀峰」等で高温障害果の発生が多かった。

【令和5年度】

- 「佐藤錦」、「紅秀峰」の収穫期間を通じて、極端な高温となる日が多く、収穫後半まで品質が維持された。

【令和4年度】

- 6月上旬に、最低気温が15°Cを下回る日が続き、着色が進んだ。
- 「佐藤錦」の収穫後半以降、最高気温が30°Cを超える日が続き、特に「紅秀峰」などの晩生品種で、高温障害果の発生が多かった。

高温・乾燥対策

いいもの成らせるさくらんぼ便り

【緊急特別号】もぎ遅れ注意！高温対策を徹底！

収穫を急げ！！

- ◆ 果実の熟度が急激に進んでいます！
- ◆ 今後は高温となる見込みのため、対策を実施し、もぎ遅れないように収穫しましょう！

【対策1】 すぐりもぎの徹底（「佐藤錦」は直ちに収穫）

- 高温障害が出やすい樹・部位から優先的に収穫
 - ・ 樹勢が弱い樹
 - ・ 樹上部や南側、西側など日当たりの良い部位
- 「やまがた紅王」「紅秀峰」は過着色（黒くツヤがない）になる前に収穫



■「やまがた紅王」の過着色果



■「佐藤錦」の高温障害果

【対策2】 反射シートの撤去

- ・ シルバーマルチは高温になりやすいため、今すぐ撤去



【対策3】 かん水・散水の実施

- ・ 夕方頃に、幹元を中心に少量かん水（1樹当たり50～100ℓ程度）
- ・ 高温時に、果実表面が軽く濡れる程度に樹上散水（1時間おきに2～3回）

【対策4】 厳選出荷・病虫害防除の徹底

- ・ 軟果、ウルミ果が発生してきているため、選果を徹底
- ・ アウトウショウジョウバエが発生しているため、防除間隔が開き過ぎないように、防除を実施

【対策5】 連棟ハウスでは換気を実施

- ・ 谷部分のビニルをまくり上げる又は峰部分をワンスパン分開ける〈防鳥対策必須〉

- ◆ 疲れがたまってくる時期です。体が第一ですので、適宜、休憩をとり、熱中症予防のため、水分・塩分補給を万全にしましょう。
- ◆ 農作業安全に留意し、「焦らず・気もまず」作業を進めましょう！

さくらんぼの販売状況等について

1 販売状況

(1) JAの販売実績（6月23～26日現在）

- 主産地6JAのさくらんぼ全体の数量は前年最終実績比 43%、単価は同 123%、販売額は同 52%となっている。

J A	現在の実績（前年最終実績比）		
	数量（%）	単価（%）	販売額（%）
A	42	122	51
B	54	110	59
C	41	124	51
D	35	153	54
E	41	124	51
F	54	111	60
合計	43	123	52

- 品種別の数量は、「紅さやか」が前年最終実績比 60%、「佐藤錦」が同 41%となっている。また、一部がまだ集計に反映されていない「やまがた紅王」は同 113%、「紅秀峰」は同 27%となっている。

品 種	現在の実績（前年最終実績比）		
	数量（%）	単価（%）	販売額（%）
紅さやか	60	124	74
佐藤錦	41	130	53
やまがた紅王	(113)	(86)	(104)
紅秀峰	(27)	(145)	(38)

() 内は、一部の集計のため参考値。

■階級・等級割合（JA全農山形、令和6年は6月24日現在、令和5年は最終実績）

- 果実肥大が早期に停滞したことから小玉傾向となり、M級割合は前年に比べ高い。
○ 一方、前年に比べ着色が良かったことから特秀割合は高い。

<佐藤錦>

	階級割合（%）			等級割合（%）		
	2L以上	L	M	特秀	秀	丸秀
令和6年	3.2	38.2	58.6	33.0	41.3	25.7
令和5年	12.9	54.8	32.3	17.1	44.7	38.2
前年比	▲9.7	▲16.6	+26.3	+15.9	▲3.4	▲12.5

<紅秀峰>

	階級割合 (%)			等級割合 (%)		
	2 L 以上	L	M	特秀	秀	丸秀
令和6年	22.1	52.0	25.9	22.2	34.3	43.5
令和5年	55.6	37.2	7.2	13.9	41.6	44.5
前年比	▲33.5	+14.8	+18.7	+8.3	▲7.3	▲1.0

※「紅秀峰」は、一部の集計のため参考値。

(2) 産地市場の状況 (6月24日現在)

- 全体として数量は前年最終実績比約 50~70%、単価は同約 120~160%、販売額は同約 70~90%となっている。

市場	現在の実績 (前年最終実績比)		
	数量 (%)	単価 (%)	販売額 (%)
A	56	133	75
B	50	130	65
C	74	121	90
D	59	158	93

(3) 東京・大阪卸売市場の取引状況 (6月24日まで)

- 東京都、大阪市とも前年に比べ数量が大幅に減少し、需要に応えられていない状況

都市名	数量 (t)	平均価格 (円/kg)	金額 (百万円)
東京都中央卸売市場	487 (43%)	3,300 (138%)	1,610 (59%)
大阪市中央卸売市場	92 (60%)	3,028 (132%)	279 (79%)

() 対前年最終実績比

(4) 直売所の状況 (6/26 聞き取り)

- 販売が早めに終了するため、今後、販売額は前年より減少する見込み。

聞き取り先	現在の実績 (前年比)			備考
	数量 (%)	単価 (%)	販売額	
A店	95	110	前年上回る	・例年より早く、今月中でさくらんぼの販売は終了見込み
B店	70	120	前年並	・果実は小玉が多い傾向
C店	70	110	前年下回る	・今後は数量の減少が見込まれることから、販売額はさらに減少する見込み
D店	40~50	150	前年並	・今後は数量の減少が見込まれることから、販売額は減少する見込み ・販売は7月7日頃まで実施予定

(5) さくらんぼの宅配便の状況

- 個人向けギフトやふるさと納税返礼品の宅配便の発送件数は、前年に比べ3割程度減少する見込み（大手3社からの聞き取り結果）。

2 生産者聞き取り調査<調査継続中>

調査対象農家：東南村山 34、西村山 22、北村山 36、東南置賜 13、西置賜 4 合計 109 件

(1) 収穫量（平年比）

- 収穫量は、「佐藤錦」「紅秀峰」で約15%の農家が平年比5割超の減となっている。

	5割超の減	3～5割の減	3割までの減	平年以上
佐藤錦	17件 (15.7%)	36件 (33.3%)	39件 (36.1%)	16件 (14.8%)
紅秀峰	15件 (15.3%)	21件 (21.4%)	39件 (39.8%)	23件 (23.5%)

(2) 果実肥大（平年比）

- 果実肥大は、全体の半分以上の農家が平年より小さい。

	平年より小さい	平年並み	平年より大きい
佐藤錦	67.0%	26.6%	6.4%
紅秀峰	59.6%	34.3%	6.1%

(3) 販売金額（平年比）

- 販売金額が、平年比3割を超える減となった農家は約34%。そのうち、5割を超える減となった農家は約7%程度。

5割超の減	3～5割の減	3割までの減	平年以上
7件 (6.5%)	29件 (27.1%)	37件 (34.6%)	34件 (31.8%)

(4) 無利子融資等による支援の必要性

- 無利子融資等による支援については、約20%の農家が必要であるとしている。

必要	必要ない	回答なし
22件 (20.6%)	80件 (74.8%)	7件 (6.5%)

令和6年6月28日
産業労働部

販売事業者等と県ふるさと納税の状況について

1 販売事業者等の状況

(1) スーパーの状況

- 例年より早めに販売が終了するため、販売額は前年より減少する見込み。
- 注文受付済分の数量が確保できず、代替品発送や返金対応を行っている。

聞き取り先	6/26 現在 (前年比) (%)			備考
	数量	単価	販売額	
A社	49	85	44	・入荷量が少なく、販売数が大幅に減少 ・ギフト受付済分の数量を確保できず、返金や代替品で対応
B社	61	135	62	・ギフト受付を早期で終了 ・注文受付済分の数量を確保できず、返金や代替品で対応
C社	58	90	54	・ギフト受付は当初予定の1週間前に終了 ・注文受付済分の84%を出荷し、不足分は返金や品種変更(佐藤錦→紅秀峰)で対応

(2) 商工団体、関連事業者への聞き取り

- 卸売業、小売業では、注文受付済分の数量が確保できず、代替品発送や注文を断るなどの対応を行っている。
- 資材販売業では、例年の6～7割程度の売上で、多くの在庫を抱えている。
- 食品製造業では、果実をそのまま利用する場合は原料確保に苦慮しているが、飲料等はある程度確保できている。
- 運送業では、さくらんぼの荷物量が例年に比べ大幅に落ち込んでいる。

業種	事業者の声
卸売業	・注文受付済分の数量を確保できず、代替品で対応している ・仕入れは大変だが、高くても売れるため、量を確保することを優先している
小売業	・注文受付済分を確保できず、市場から高額で仕入れたり、キャンセル対応した ・品質が統一せず苦慮している
資材販売業	・売上げは例年の6～7割程度 ・多くの在庫を抱え、売上げがないのに支払いが生じて厳しい状況
食品製造業	・缶詰、菓子、漬物の加工業者は、入荷量が減少している ・ワイン、果汁等の加工業者は原料を確保できているが、糖度のばらつきがある
運送業	・さくらんぼ荷物量は例年に比べ大幅に落ち込んでいる ・例年、6月中下旬から紅秀峰の出荷が増えるが、今年は大幅に減る見込み

2 ふるさと納税返礼品(県分)の状況

- 今期発送予定分のうち、数量が確保できないため約1,500件分が発送できていない。
- 不足分は、寄附者の意向を確認し、他の返礼品等への変更手続きを進めている。

対応	寄附件数	事業者数	備考(対応例)
数量不足により発送不可	1,513件	4社	桃等の返礼品又は次年度同品で対応
品種変更の対応	77件	5社	佐藤錦を紅秀峰に変更して送付
サイズ変更の対応	10件	1社	4Lを2Lに変更して送付
合計	1,600件	10社	

(参考) 令和6年4月以降の「さくらんぼ」の返礼品発送予定件数：約1万5千件

令和 6 年 6 月 28 日
みらい企画創造部

ふるさと納税返礼品（市町村分）の状況について

全市町村に対して、ふるさと納税返礼品の状況を調査した結果は、以下のとおり。

（令和 6 年 6 月 26 日現在）

○令和 6 年度発送予定件数約 336,000 件のうち、約 76,000 件（約 22.6%）が予定通りに発送できていない。（件数は概数の市町村を含む）

○各市町村において、寄附者の意向を確認しながら、次のような対応をしている。

- ・他の返礼品への振替
- ・同品（さくらんぼ）を翌年度に送付
- ・寄付額の返金
- ・異なる品種、サイズ等のさくらんぼへの振替
- ・その他（寄附者の意向確認中）

発送予定件数	発送できていない件数	発送できていない割合
約 336,000 件	約 76,000 件	約 22.6%

※件数は概数の市町村を含む

令和 6 年 6 月 28 日
観光文化スポーツ部

さくらんぼ観光果樹園等の状況について

1 観光果樹園の状況（6/24 聞き取り）

（1）入込状況

- ・営業開始及び終了（予定）日が前年より 1、2 週間程度前倒しとなっているが、入込数は「前年並み」の園地が多い。
- ・予約受付も前年より早く終了しているが、現在も受け入れについての問い合わせが多くある。

（2）営業期間

【主要な果樹園の状況】

園 地	営業開始	営業終了（予定）日
山形市	6 月 8 日	6 月 23 日
寒河江市	5 月 24 日	6 月 23 日
上山市	6 月 8 日	6 月 23 日～30 日
天童市	6 月 1 日	6 月 30 日～7 月 10 日
東根市	6 月 1 日	6 月 23 日～30 日
南陽市	6 月 15 日	6 月 23 日
鶴岡市	6 月 3 日	6 月 28 日

2 宿泊施設の状況（6/24 聞き取り）

- ・さくらんぼの時期の宿泊者数は前年並みのところが多く、大きな影響はみられない。
- ・予約受付時にさくらんぼ狩りが早まっていることを説明していることなどから、前年に比べ 6 月上中旬に予約が多かった宿泊施設もある。

以上

支援・対策について（検討案）

1 技術対策

（1）さくらんぼ高温対策プロジェクト会議の設置

- 双子果及び高温障害果発生要因の解析
- 双子果及び高温障害果対策の優良事例の共有と対策技術の再確認
- 中長期的な視点で、高温に対応するための技術開発について検討

（2）次期作に向けた技術指導

- 翌年の双子果発生軽減に向けて、今夏の花芽分化前に講習会を開催
- 高温少雨対策について、現地の優良事例を集約
- 試験データに基づく解析や高温に対応した技術指導

（3）新たな高温に対応する技術開発

- 簡易的な遮光技術等の開発
- 新型さくらんぼ雨除けハウスにおける双子果発生軽減技術の実証
- 高温下でも適応可能な品種の検討

2 設備・資材導入等への支援

- 高温対策に必要な設備・資材の導入、品種構成の見直し等について、現場の声を聞きながら今後必要な支援策を検討

【想定される設備・資材等】

- ・ 井戸掘削、スプリンクラー等の灌水・散水設備
- ・ 梨地加工ビニール、白色反射シート、循環扇等の雨よけ施設内の昇温を抑える資材
- ・ 選別作業を効率化する選果機、品温上昇を抑える選別出荷施設の冷房設備 など

3 資金繰りへの支援

(1) 農業者への支援対策

- 農林漁業天災対策資金（肥料・農薬費等の運転資金）の早期発動
利率:無利子～0.9%、限度額:個人 500 万円（法人 2,500 万円）、
期間（据置）：3～5年（据置なし）

(2) 中小企業者への支援対策

- 商工業振興資金（経営安定資金）による資金繰り支援
利率:1.6%、限度額:8 千万円（運転資金のみ）、期間（据置）：7年（2年）

【参考】 農業保険によるセーフティーネットへの加入状況

収入保険：経営全体の販売金額の減少（1割以上）が生じた場合に支払い

果樹共済：品目ごとに収穫量の減少（3割以上）が生じた場合に支払い

○ 収入保険

- ・ さくらんぼ生産者の加入状況：705 件 348.8ha（面積加入率 12.4%）
- ・ 被害申告：12 件（収穫後でも申告可能であり、現時点では申告わずか）
- ・ 無利子つなぎ融資について 5 件程度の相談あり

○ 果樹共済（おうとう）

- ・ 加入状況：668 戸 121.1ha（面積加入率 4.3%）
- ・ 被害申告：200 戸 35.6ha
- ・ 着果不良や双子果による減収は対象となるが、うるみ果などの収穫時のロスについては対象外

以上